

事務 事業名	コード1	2090	飯岡歴史民俗資料館活動費	課	生涯学習課		
	コード2			所属班	文化振興班		
			☐ 主要事業	電話番号	55-5728	内線	-
政策 体系	基本方針	4	心豊かな人と文化を育むまちづくり	予算	会計		
	施策	7	芸術文化の振興・伝統文化の保存	科目	一般会計		
	施策の展開	3	地域固有の歴史、史跡や伝承民俗芸能等の保存継承	根拠	飯岡歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条		
	基本事業			法令	例、規則		

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	収蔵品と施設の維持管理及び来館者への対応。 【業務の流れ】 ・文化財のくん蒸(年4回)及び防虫剤の補充 ・通常施錠(警備)されていることから、来館者への開錠及び希望者への説明 ・パンフレット等補充

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
需用費(消耗品・印刷製本)	国庫支出金	千円						
役務費(電話料・手数料・保険料)	都道府県支出金	千円						
委託料(警備・浄化槽・電気工作物・害虫駆除)	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	624	624	579	668		
② 延べ業務時間の内訳	事業費計(A)	千円	624	624	579	668	0	0
21年度 46時間	人件費	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
22年度 21時間	延べ業務時間	時間	46	21	6	15		
23年度 6時間	人件費計(B)	千円	175	80	23	57	0	0
24年度 15時間	トータルコスト(A)+(B)	千円	799	704	602	725	0	0

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 施設の維持管理と来館者の対応	ア 開館日数	日	289	278	247	270		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 施設の維持管理と来館者の対応	イ 希望者への説明回数	回	5	4	2	3		
		ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	市内外の愛好者・観光客等 児童・生徒	ア 来館者数	人	556	256	63	180		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 開館日数	日	289	278	247	270		
	郷土歴史・文化財への関心の向上	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	文化資源の周知 地域への理解と愛着	ア (年度内に同じ人が複数回訪れた日数:リピータ)	日	0	0	0			
		イ ()							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
郷土の文化遺産を保存するため。	変化無し 震災で閉館していたため来館者が激減した。	特に無し

事務事業名	飯岡歴史民俗資料館活動費	課名	生涯学習課	班名	文化振興班
-------	--------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 結びついている ⇒【理由】 来館者が少ない。 施設に人が常駐していないことから、施設利用の利便性に欠ける。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 現状のままでいい。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 地域の歴史・文化財は、行政が責任を持って将来、未来に引き継ぐべき。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 来館者が少ない。 大原幽学記念館と歴史系施設の差別化が図られていない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 施設としての機能が、収蔵施設に限定されている。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(文化財保存庫の建設) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他の施設で収蔵している文化財の一括管理 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の予算である。
	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 既に常駐していない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 受益機会が全体的に少ない。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) ・歴史系博物館相当施設として、大原幽学記念館との差別化が図られていない。 ・人が常駐していないこと、周知活動を行っていないことから、来館者が少ない。
---	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☒ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☐ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業統廃合・連携(関連事業:文化財の集約) ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☒ 廃止・休止			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①文化財の保存機能に力点を置き、他の施設で収蔵している文化財と一括する。 ②分散している文化財を集約できる施設を検討する。 ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①施設予算の検討 ②建設候補地の検討 ③ ④																								